

【お知らせ】 令和8年度水稻病害虫防除事業の実施に伴う 危険・被害防止へのご協力について

日野米の安定生産と一層の品質向上を図ることとあわせて、安全・安心で高品質な農産物生産をすすめることを目的として、水稻の品質に大きく影響を及ぼす「斑点米カメムシ類」を中心とした病害虫防除を農業者自らが編成した共同防除組織により、無人ヘリコプター、ドローン等を用いて一斉に防除を実施します。

農薬の安全・適正使用ならびに飛散防止対策や交通安全対策等には十分注意して防除を実施しますので、地域住民皆様のご理解とご協力をお願いします。

実施期間	7月中旬～8月中旬 ※ 各農業組合別の予定日は7月15日頃の町の組回覧にてご確認ください。
防除薬剤	キラップ液剤 キラップ粉剤、キラップ粒剤 等
対象病害虫	斑点米カメムシ類およびウンカ類

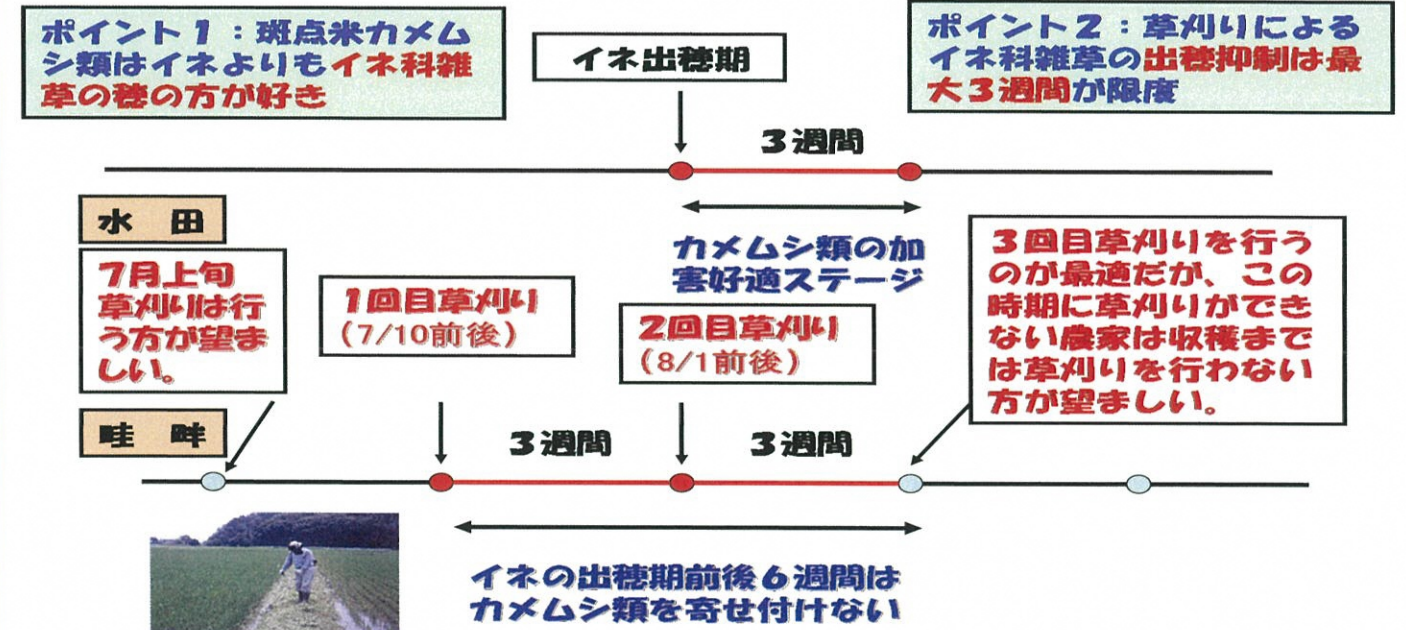
主な斑点米カメムシ類



防除実施主体：日野町病害虫防除協議会（事務局連絡先）
日野町役場・農林課（0748-52-6563） または
JAグリーン近江・日野営農振興センター（0748-52-2212）

農家の皆様へ

畦畔2回連続草刈り技術(例)



ウンカ類と被害の様子



ウンカ類による坪枯れ被害の様子



トビイロウンカ（左：長翅型、右：短翅型）



ヒメトビウンカ

水稲病虫害防除事業の事故防止のお願い

1. 防除実施主体 日野町病虫害防除協議会（各集落農業組合）
2. 防除実施期間 令和8年7月中旬～8月中旬
※集落によっては複数回防除されますので散布予定日については7月15日頃の町の組回覧か日野町ホームページ等でご確認ください。
3. 防除実施時間 午前5時から正午頃まで
4. 対象病虫害 斑点米カメムシ類、ウンカ類
5. 防除の区域 日野町内の水稲作付け水田
6. 防除方法 無人ヘリコプター・カーベツトスプレー
ドローン・背負い式動力散布機 等
7. 使用防除薬剤
キラップ液剤 無人ヘリコプター・ドローンは8～16倍液
カーベツトスプレーは 1,000～2,000倍液
キラップ粒剤 10アール 3 kg
キラップ粉剤 10アール 3 kg～4 kg

等

※令和8年7月現在の登録内容に基づき作成されています。農薬の使用にあたっては必ず容器や袋のラベルを確認してください。

8. 危険被害防止についてのお願い

- ①一般衛生について
イ. 水稲防除作業の範囲内には、できるだけ近づかないよう、ご協力をお願いします。
- ②自動車、自転車等の道路交通について
イ. 水稲防除作業中には迂回するなど、その道路の通行はできるだけ避けてください。
ロ. 自動車等は水田の近くに駐車しないようご協力をお願いします。
やむを得ず駐車される場合は、自動車等をシートなどで覆いをして、農薬が付着しないようご協力をお願いします。
- ③家畜等の衛生管理について
イ. 養蜂は被害を受けやすいので、防除作業前に巣箱を区域外の離れた場所に移しておいてください。
ロ. 防除作業中は、飛行音や機械音が大きいので、ペットや家畜などの動物は屋外につないだり、放牧しないようにしてください。

防除実施主体：日野町病虫害防除協議会（事務局連絡先）
日野町役場・農林課（0748-52-6563）
または
JAグリーン近江・日野営農振興センター（0748-52-2212）

増えています「カメムシ被害」

◆カメムシ被害の発生しやすい条件

- ①夏の降水量が少なく、梅雨明けが早い高温少雨条件でカメムシの活動は活発となります。
- ②暖冬の年は、越冬量が多く発生が増えます。
- ③周辺圃場より出穂が早い、または遅いと被害が集中します。
- ④周辺に休耕田が多く、畦畔にも雑草が繁茂しているとカメムシの繁殖地となります。
- ⑤圃場内にイネ科雑草が多いと、稲より早く出穂する雑草があり、早い段階から圃場内にカメムシを呼び込むこととなります。



◆管内で被害をもたらす主なカメムシの種類

- ①ホソハリカメムシ 稲への選好性が高く、ほ場内でも増殖します。成虫・幼虫ともに吸汁能力は高く、被害痕は大型です。
- ②アカスジカスミカメ 飛翔力は弱く、長距離移動はしないがほ場中央部まで飛翔して移動ができる。吸汁能力は低いが、多発時は被害が大きい。
- ③クモヘリカメムシ 飛翔能力が高く、稲への選好性が高く、ほ場内でも増殖します。成虫・幼虫ともに吸汁能力は高い。



②アカスジカスミカメ



①ホソハリカメムシ



③クモヘリカメムシ

◆近年発生が目立つ大型カメムシ類

- ④イネカメムシ 稲を強く好み、成虫が出穂期に集中加害（吸汁能力が非常に高い）
出穂期（不稔期予防）と乳熟期（斑点米予防）に2回防除を行うと防除効果が高い。
※乳熟期・・・出穂期+8日頃
- ⑤ミナミアオカメムシ 飛翔能力が高く吸汁能力が非常に高い。
若齢幼虫はまとまっていることが多く、加害する作物も多い。



④イネカメムシ



⑤ミナミアオカメムシ（若齢幼虫）



④イネカメムシ

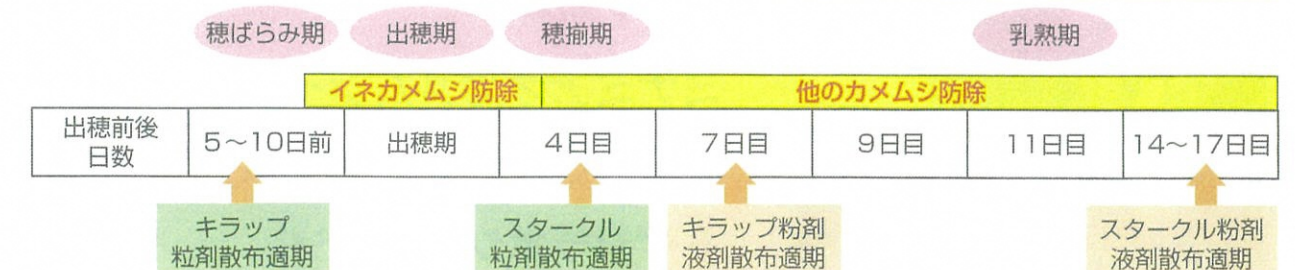


⑤ミナミアオカメムシ

JAグリーン近江
特別栽培米はエチプロール
（キラップ）2回まで

画像提供：滋賀県病虫害防除所

斑点米カメムシ防除は出穂後2回防除が効果的!!



- 注意① 「イネカメムシ」が確認されたら「出穂期」に薬剤防除を検討する。
注意② 粒剤の殺虫剤は、粉剤・液剤に比べ散布適期が早いです。
注意③ 「スタークル」は本田3回まで「キラップ」は本田2回まで使用が出来ます。
注意④ 「スタークル」は収穫7日前まで「キラップ」は収穫14日前まで使用が出来ます。
注意⑤ 粒剤だけでは効果が劣るので、粉剤・液剤散布も検討する。